NO.

055

社会 インターネットと民主主義

Democracy in the Age of the Feed

タイムライン時代の民主主義

英文の音声

レベル ★★★ 難関 | 294語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 When the internet spread in the 1990s, many people believed it would strengthen democracy. Anyone could now ❶**take part in** public debate, not just journalists and politicians. Citizens could ❷**put forward** their own ideas, ❸**reply to** officials directly, and organize movements without money or permission. During the protests that swept across parts of the Arab world in 2011, social media helped activists share information that state television ignored.

2 Two decades later, the picture looks more complicated. A politician who ❹**tells a lie** can reach millions of people within minutes, and by the time fact-checkers respond, the story has already done its damage. Even if the politician later ❺**takes back** the statement, many who saw the original never see the correction. Online anger can spread so fast that it gets ❻**out of control**, turning a careless remark into a national scandal overnight.

3 Algorithms add another problem. Platforms tend to show us posts similar to those we have liked before, so we mostly see opinions we already ❼**approve of**. The writer Eli Pariser called this a "filter bubble." Inside it, people who ❽**object to** our views seem not just wrong but strange, and compromise, the heart of democracy, becomes harder.

4 Yet the internet has not only harmed political life. Candidates who ❾**run for** office without wealthy supporters can now ❿**get their message across** cheaply. Voters can easily check whether those who ⓫**made a promise** during the campaign have kept it, and they can find data that ⓬**backs up** or contradicts official claims.

5 The internet, in short, is a tool; whether it strengthens or weakens democracy ⓭**is up to** us. Learning to read critically, to listen to people we disagree with, and to check before we share may be as important to modern citizenship as voting itself.

語注 **activist** 活動家 **algorithm** アルゴリズム（計算の手順） **compromise** 歩み寄り・妥協 **contradict** ～と矛盾する・否定する **citizenship** 市民であること・市民としての資質

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 take part in ~ ～に参加する □□□

participate in と同じ。part は「役割」で、take part＝役割を担う。join（他動詞）は in が不要な点に注意

例 *More than a hundred countries took part in the conference.* 100以上の国がその会議に参加した。

2 put forward ~ （意見・案）を出す □□□

前へ置く→提案する。propose / suggest と言い換えられる。come up with（思いつく）と並べて覚える 例 *She put forward a new plan at the meeting.* 彼女は会議で新しい計画を提案した。

3 reply to ~ ～に返事をする □□□

reply は自動詞なので to が必要。answer は他動詞なので answer the letter。この違いが誤文訂正で頻出 例 *I haven't replied to his email yet.* 私はまだ彼のメールに返事をしていない。

4 tell a lie うそをつく □□□

動詞は say ではなく tell。tell the truth（本当のことを言う）も同じく tell。lie（うそ）と lie（横たわる）は別の語

例 *He told a lie to avoid getting into trouble.* 彼は面倒を避けるためにうそをついた。

5 take back ~ （発言）を取り消す □□□

言葉を取り戻す→撤回する。物を「返品する・取り戻す」の意味もある 例 *I take back what I said; I was wrong.* 言ったことは取り消します。私が間違っていました。

6 out of control 制御できなくなって □□□

control（支配）の外に出た状態。get / go out of control の形が多い。under control（制御されて）が反対 例 *The fire quickly got out of control.* 火事はたちまち手がつけられなくなった。

7 approve of ~ ～に賛成する □□□

of が付くと「よいと認める」。of のない approve は「（正式に）承認する」。disapprove of（反対する）も出る

例 *My parents don't approve of my staying out late.* 両親は私が夜遅くまで出歩くことに賛成しない。

8 object to ~ ～に反対する □□□

to は前置詞なので後ろは名詞か動名詞。object to doing の形が並べ替えで狙われる。be opposed to と同じ意味

例 *Many residents objected to building a new airport.* 多くの住民が新しい空港の建設に反対した。

9 run for ~ ～に立候補する □□□

選挙に向かって走る。run for president / run for mayor のように役職名には冠詞を付けないことが多い 例 *She decided to run for mayor of the city.* 彼女は市長に立候補することを決めた。

10 get across ~ （考え・意味）を伝える・理解させる □□□

向こう側へ届ける→相手に伝わる。get A across to B（A を B に伝える）の形も多い 例 *It was hard to get my idea across in English.* 自分の考えを英語で伝えるのは難しかった。

11 make a promise 約束する □□□

動詞は make。「約束を守る」は keep a promise、「破る」は break a promise とセットで覚える 例 *He made a promise never to be late again.* 彼は二度と遅刻しないと約束した。

12 back up ~ ～を支持する・裏づける □□□

後ろから支える。主張を「裏づける」、人を「支援する」、データを「バックアップする」の意味がある 例 *Can you back up your claim with evidence?* 証拠であなたの主張を裏づけられますか。

13 be up to ~ ～次第だ □□□

It's up to you.（あなた次第だ）が定番。ほかに「～しようとたくらんで」「～まで」の意味もあり、文脈で判断する 例 *Whether we go or not is up to you.* 行くかどうかはあなた次第だ。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落で述べられているインターネットの問題として、本文と一致するものはどれか。

① 政治家が発言を取り消すことができなくなった。
② 事実確認をする人が誰もいなくなった。
③ 発言が訂正されても、最初の発言を見た人の多くは訂正を見ない。
④ ネット上の怒りはすぐに静まるので、騒ぎにはならない。

問2 「フィルターバブル」の説明として最も適切なものはどれか。

① 政府がインターネット上の情報を制限している状態
② 自分が既に賛成している意見ばかりが表示される状態
③ 多くの人が同じ投稿に「いいね」を押している状態
④ 反対意見の人と積極的に議論している状態

問3 筆者の結論に最も近いものはどれか。

① The internet will inevitably destroy democracy.
② How the internet affects democracy depends on how citizens use it.
③ Only journalists should be allowed to post political news.
④ Voting is no longer important in the internet age.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜に参加する
2 （意見・案）を出す
3 〜に返事をする
4 うそをつく
5 （発言）を取り消す
6 制御できなくなって
7 〜に賛成する
8 〜に反対する
9 〜に立候補する
10 （考え・意味）を伝える・理解させる
11 約束する
12 〜を支持する・裏づける
13 〜次第だ

背景知識 インターネットは誰もが発信できる場として民主主義を広げると期待された一方、偽の情報の拡散や意見の対立の激化も生んだ。SNS などが利用者の好みに合う情報ばかりを表示する結果、自分と似た意見に囲まれてしまう状態を「フィルターバブル」、似た意見が反響し合って強まる状態を「エコーチェンバー」と呼ぶ。入試では、技術そのものではなく使う人の姿勢（批判的に読む力・異なる意見を聞く態度）が大切だという結論の文章がよく出る。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 1990年代にインターネットが広まったとき、多くの人はそれが民主主義を強めると信じた。記者や政治家だけでなく、誰もが公の議論**に参加**できるようになったのだ。市民は自分の考え**を提案し**、役人**に直接返事をし**、お金も許可もなしに運動を組織できるようになった。2011年にアラブ世界の一部に広がった抗議運動では、国営テレビが無視した情報を活動家たちが共有するのを、ソーシャルメディアが助けた。

2 20年後、状況はもっと複雑に見える。**うそをつく**政治家は数分のうちに何百万もの人に届き、事実確認をする人々が対応するころには、その話は既に害を及ぼしてしまっている。たとえその政治家が後で発言**を取り消して**も、最初の発言を見た人の多くは訂正を目にしない。ネット上の怒りはあまりに速く広がるので**手がつけられなくなり**、不用意な一言が一晩で全国的な騒ぎに変わってしまうこともある。

3 アルゴリズムはもう一つの問題を加える。プラットフォームは、私たちが以前「いいね」したものと似た投稿を見せる傾向があるため、私たちが目にするのは主に既に**賛成している**意見になる。作家のイーライ・パリサーはこれを「フィルターバブル」と呼んだ。その中では、私たちの意見**に反対する**人々は間違っているだけでなく奇妙にさえ見え、民主主義の核心である歩み寄りがより難しくなる。

4 しかし、インターネットは政治の営みを害してきただけではない。裕福な支援者のいない人でも、公職**に立候補する**際に、今では安く自分の主張**を伝える**ことができる。有権者は、選挙運動中に**約束をした**人々がそれを守ったかどうかを簡単に確かめられるし、政府の主張**を裏づけたり**否定したりするデータを見つけることもできる。

5 要するに、インターネットは道具であり、それが民主主義を強めるか弱めるかは私たち**次第**なのだ。批判的に読むこと、意見の合わない人の話を聞くこと、共有する前に確かめることを身につけるのは、現代の市民にとって投票そのものと同じくらい重要なのかもしれない。

要旨 インターネットは誰もが政治に参加できる道を開いたが、うその拡散やフィルターバブルという問題も生んだ。それが民主主義を強めるか弱めるかは、使う私たちの姿勢次第である。

解答・解説 ANSWERS

問1 3　**問2 2**　**問3 2**

問1　正解 3　根拠は第2段落の Even if the politician later takes back the statement, many who saw the original never see the correction.（後で発言を取り消しても、最初の発言を見た多くの人は訂正を目にしない）。よって 3 が正解。1 は「取り消しても」とあり、取り消すことはできる。2 は by the time fact-checkers respond とあり、事実確認をする人はいる。4 は gets out of control, turning a careless remark into a national scandal とあり逆。

問2　正解 2　根拠は第3段落の Platforms tend to show us posts similar to those we have liked before, so we mostly see opinions we already approve of.（以前いいねしたものと似た投稿が表示され、既に賛成している意見ばかり見る）と、それを受けた called this a "filter bubble"。よって 2 が正解。1 の政府の制限は述べていない。3 は「いいね」という語に引っかけた選択肢で、多くの人が同じ投稿を押すという意味ではない。4 は compromise becomes harder とあり逆の状態。

問3　正解 2　根拠は第5段落の whether it strengthens or weakens democracy is up to us（それが民主主義を強めるか弱めるかは私たち次第）。be up to を depends on と言い換えた 2 が正解。1 は第4段落で良い面も挙げているので「必ず壊す」は言いすぎ。4 は as important ... as voting itself（投票と同じくらい重要）とあり、投票が重要でないとは言っていない。3 は第1段落で誰もが参加できることを良い点として述べており反する。